

協会記事

理事会（平成20年度第1回）

平成20年5月19日（月）17:30～20:45

当協会役員室において開催。

出席：前島郁雄（会長）、大森博雄、長谷紘和、江藤哲人、笠原順三、高村弘毅、田村俊和、伊達二郎、野々村邦夫、三上岳彦（松本 良理事は欠席、委任状提出）

出席監事：嶋崎吉彦、野上道男

I. 議事録の承認

平成19年度第7回理事会議事録は承認された。

II. 報告事項

1. 編集委員長報告：笠原理事

地学雑誌117巻2号（特集号「GIS」）は先日発行済み、3号は通常号（論説2、資料1、講演会報告3、海外巡検報告など）で、6月下旬、4号は通常号と小特集「CO₂地中貯留」（5論文）で8月下旬、5号は通常号で10月下旬、6号は通常号と小特集「グローバル気候変動Part II」（6論文）として12月下旬、それぞれ発行予定である。

また投稿中や投稿準備中のものを文献リストに入れられないよう投稿規定を改定したこと、更に書評については雑誌刊行前であってもホームページに全文を公開することとし、すでに実施中であることが報告された。

2. 行事委員長報告：三上理事

総会後の春季講演会（丸山茂徳「地球温暖化の真相」）および秋の公開講演会について、講演者などが報告された。

3. 経理委員長報告：伊達理事

20年度の監査業務を依頼するため、二つの公認会計士事務所に見積もりを依頼した結果、桜井公認会計士に依頼することに決定したいとの報告があり、了承された。

4. 図書・広報委員長報告：江藤理事

5月はじめに雑誌915冊の製本を発注したこと、来る22日（木）に図書委員会を開催すること、また6月中旬に広報委員会を開催する予定であることが報告された。

5. 会館委員長報告：長谷理事

平成12年の借入金を19年12月に完済、20年1月には担保抹消登記も完了した旨報告された。

6. 助成委員長報告：大森理事

20年度助成事業について4月22日に委員会を開催、選考した結果、助成対象（案）を決定したことが報告された。研究調査助成については、申請16件中10件、国際研究集会援助金については申請3件中2件を採択したいと報告された。

7. 将来計画委員長報告：田村理事

日本地球惑星科学連合の評議会が5月28日に開催、出席するが、法人化へ向けて当協会の態度決定が必要なことを認識し、当協会の分野横断的性格についてまず認識を深めることを検討したいとの報告があった。

8. 日本地学史編纂委員会報告：高村理事

5月3日に開催された委員会について報告があり、山田委員担当部分について議論があったことなどが報告され、意見交換があった。

9. 渉外委員長報告：野々村理事

ロシアで開催されたIGU役員会において、2014年を予定していた日本に招致しての開催が2013年に早まったことなどが報告された。

10. 庶務委員長報告：長谷理事

「地学オリンピック」への協賛依頼があり、協賛団体に加わることとしたこと、IGC-Tunisにおける日本紹介展示への協力依頼があったことなどが報告された。後者については、野々村理事を中心に対応を考えることとなった。

11. 業務監査報告：嶋崎監事

5月9日に嶋崎、野上両監事により行われた業務監査の結果、問題がなかったことが報告された。

III. 議題

1. 会員の入退会について

入会申込者：大友幸子、小坂英輝、山内竜司、宇根 寛、田中耕市、山野博哉、大山

修一、西井稜子、出村裕英、および中山大地、計10名の入会が承認された。

2. 平成20年度助成対象について

助成委員長から報告された採択案を審議した結果、原案通りに決定した。また関連して21年度の募集、審査に当り、変更すべき2、3の点が検討され、委員長案のとおり決定した。

3. 平成19年度事業報告書および決算書について

長谷理事および伊達理事から資料について説明があり、決算書についてはすでに監査法人からの適正である旨の報告も受けており、質疑を経た後承認されたが、事業報告書については一部字句の修正が必要な部分を田村理事が修正することで承認された。

4. 評議員会・総会の議題について

庶務担当理事から提案された案のうち、例年通りの1号および2号議案については問題なく承認された。また第3号議案として提案されたIYPE事業に関連して、特別会計を組む必要が生じた場合には臨時総会に諮り承認を得る必要があろうとの見解となった。

5. その他

① 「日本ジオパークモデル化研究会」への協力について

検討の結果、更なる情報収集が必要という結論になり、今回の決定は見送られた。

② 次回理事会日程について

7月7日(月)17時30分から開催することに決まった。

評議員会(平成20年度第1回)

平成20年5月31日(土)12:30~13:45
当協会会議室において開催。

評議員21名のうち、出席者7名(石原丈実、岩田修二、柏木高明、加藤碩一、斉藤享治、齋藤靖二、中尾征三 各評議員)、委任状提出者12名、合計19名で、定足数15名の本評議員会は成立した。他に役員のうち、前島会長ほか6名の理事および嶋崎、野上両監事が出席した。

前島会長から開会挨拶があった後、出席者の互選により齋藤靖二評議員が議長に選出され、議事録署名人に石原丈実、斉藤享治両評議員が指名された。

まず、第1号議案:平成19年度事業報告ならびに収支決算承認の件につき、長谷庶務担当理事から事業報告が、伊達経理担当理事から収支決算報告が行われた。嶋崎監事から外部監査結果も踏まえ業務・会計監査の結果、問題がない旨報告され、審議の結果、本議案は異議なく承認された。新公益法人制度に関連し、日本学術会議から5月に公表された学術団体のあり方について、提言の一部が紹介され、当協会においても公益性が外部から見えやすい事業項目と予算の項目の立て方の必要性について議論がなされた。

次に、第2号議案:平成20年度事業計画ならびに収支予算承認の件については、長谷理事から平成20年度事業計画案が、伊達理事から収支予算案についての説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

最後に、第3号議案:国際惑星地球年の活動について、長谷理事および松本理事から当協会が積極的に支援する方針であることが説明され、承認された。

通常総会(平成20年度第129回)

平成20年5月31日(土)13:45~14:35
当協会講堂において開催。

正会員出席者は31名、委任状提出者410名、合計441名により定足数417名の本総会は成立した。

前島郁雄会長の開会挨拶の後、定款の規程により前島会長が議長席に着き、議事録署名人として大森博雄会員、長谷紘和会員が指名された。

議事に先立ち会員の異動が報告され、前回総会以降に逝去された7名の会員に対して黙祷が捧げられた。

第1号議案 平成19年度事業報告ならびに収支決算承認の件

長谷庶務担当理事から事業報告が、伊達理事から収支決算報告が行われた。嶋崎監事が

ら外部監査結果も踏まえ業務・会計監査の結果、問題がない旨報告された。審議の結果、本議案は異議なく承認された。

第2号議案 平成20年度事業計画ならびに収支予算承認の件

長谷理事から平成20年度事業計画が、伊達理事から収支予算の説明が行われた。審議の結果、本議案は異議なく承認された。

第3号議案 国際惑星地球年の活動について

長谷理事から当協会が積極的に支援する方針であることが説明され、外部組織も加わっ

て寄付行為を伴う活動のため当協会内に特別会計を組むことが必要となった場合には臨時総会を開催して計画の承認を得る方針であることが説明された。審議の結果、本議案は承認された。

閉会に先立ち、前島会長から本日付をもって岡原義旦事務局長が退任し6月1日付で中尾征三氏が新事務局長に就任することが報告された。

以上により議事を終了し、13時45分、議長は閉会を宣言した。

平成 19 年度事業報告書

(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

1. 事業方針

地学を奨励し、地学における専門分野の連携を図り、もって総合的な地学の進歩普及を推進することを目的とする。

2. 事業内容

(1) 公益事業

① 講演会および地学見学会の開催（定款第 4 条の一）

地学に関する学術の交流と普及を目的として、講演会および見学会を開催した。

i. 定例の講演会および見学会

- ・春季講演会：平成 19 年 5 月 26 日（土）

「海嶺の沈み込みと三波川一領家変成岩および花崗岩の成因」

講演者：東京大学大学院理学系研究科
准教授 岩森 光

- ・秋季講演会：平成 19 年 10 月 20 日（土）

「黄河水域の地下水研究のあらまし」

講演者：(独) 産業技術総合研究所

地圏資源環境研究部門 石井武政

ii. 特別企画の見学会

- ・海外見学会：平成 20 年 2 月 20 日（水）～
29 日（金）

「ニュージーランドのグリーンでクリーンな自然と社会をより深く知る旅」

案内者：河内洋佑（元オタゴ大学）、

村岡洋文（産総研）

iii. IGU 役員会関連事業

国際地理学連合（IGU）役員会が初めて東京で開催されることになった。これに協力するため、足尾・日光への特別見学会（案内者：渡辺眞紀子（東京工大））と歓迎食事を開催した（平成 19 年 4 月）。

iv. 上記諸行事に関連して委員会を開催した。

② 地学雑誌の発行・頒布（定款第 4 条の二）

機関誌「地学雑誌」は、会員の研究成果の発表を主目的とした通常号（小特集を含む）と最新の話題や成果を特集した特集号各 3 冊（116 巻 1 号

から 117 巻 1 号まで、ただし 3 号 4 号は合併号）を発行した（総ページ数：1265 ページ）。

また、本誌発刊 2 ヶ月後にオンラインジャーナルとして全文を地学協会ホームページに掲載している。

これらの企画・編集のための委員会を特集号に関するものを含め、14 回開催した。なお、別刷は論文ごとに CD-ROM 一枚にまとめ、無償で著者に提供しているが、追加分および印刷した別刷は有償で提供した。またカラーページの印刷代などについての負担金額を明確化した。

③ 地質図幅等の頒布（定款第 4 条の二）

独立行政法人産業技術総合研究所との間で平成 17 年 4 月 1 日に契約された「地球科学図および地球科学データ集の有料頒布業務」についての委託契約に基づき、同研究所地質調査総合センター（旧工業技術院地質調査所）発行の地球科学図および地球科学データ集等出版物を頒布し、利用者の便宜を図った。

④ 日本地学史の編纂（定款第 4 条の三）

平成 18 年度以来の調査研究成果を地学雑誌 117 巻 1 号に「戦後日本の地学（昭和 20 年～昭和 40 年）（その 1）」として発表した。そのため委員会を年 6 回開催した。

⑤ 地学に関する調査・研究費助成（定款第 4 条の三）

当協会が適当と認める研究・調査を助成し、地学の発展に寄与することを目的とする。本年度からきめ細かくグループわけをして選考する方法を採用した。

会員個人またはその研究グループを対象とし、地学に関する研究・調査、および国内で開催される国際研究集会に対して助成を行った。19 年度は申請 11 件の中から 7 件（調査研究）、国際研究集会援助に関しては、申請のあった 3 件すべてに対し、総額 4,576 千円の助成を行った。

⑥ 広報活動（定款第 4 条の四）

長年の試行から脱して、本格的にホームページ

の維持・拡充を図り、地学雑誌のウェブ掲載を引き続き行った。

⑦図書室の整備（定款第4条の五）

雑誌の製本、図書整理を継続して行ったほか、東京地学協会の過去の出版物（19年度は「東亜地質図（昭和4年刊）」を2種のCD-ROMとし、永年保存する作業を実施した。

⑧将来計画委員会活動計画（定款第4条の八）

東京地学協会の将来展望に関する検討および日本地球惑星科学連合との連携窓口としての活動を引き続き行った。

⑨ジオエキスパート委員会による専門家紹介事業（定款第4条の八）

この事業に登録した会員を、自治体、NPO、企業等に地学各分野の専門家として紹介し、アウトリーチ活動を展開して協会の社会貢献活動を更に拡大する計画であったが、今期は機能を発揮できずに終わった。この事業の広報のしかたに工夫する余地があると考えられる。

⑩地学クラブ講演会の支援（定款第4条の一）

地学クラブは、地学全般の新しい発見や研究の動向等に関する講演会を独自に開催、会員の知識向上および一般参加者との懇親を目指して、19年度は9回の例会を開いた。この地学クラブの活動に対して協会は支援を行った。

(2) 収益事業（会館特別会計）（定款第4条の七）

地学会館ビルの一部賃貸・会館の保全管理事業を行っているが、19年度は一部剥落が発生して危険になった張り出し部分外壁の修理と、腐食が目立つようになった軒天井板の交換という二つの修復工事を中心にドアの交換その他の小修理を行った。

(3) その他定款に基づく会議の開催

- ・ 通常総会（1回）平成19年5月26日
- ・ 評議員会（3回）平成19年5月26日（第1回
および第2回）
平成19年10月20日（第3回）
- ・ 理事会（7回）平成19年5月7日、5月26日、
7月23日、9月12日、11月12日、平成20
年1月21日、および3月24日

正味財産増減計算書総括表

平成19年度 第129期

(自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

(単位：円)

科 目	一般会計	会館会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常損益の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益	25,181	0	0	25,181
基本財産受取利息	25,181	0	0	
②特定資産運用益	0	410,676	0	410,676
特定資産受取利息	0	410,676	0	
③受取会費	3,970,000	0	0	3,970,000
正会員受取会費	3,740,000	0	0	3,740,000
賛助会員受取会費	230,000	0	0	230,000
④事業収益	11,835,107	121,240,720	-1,637,912	131,437,915
地学雑誌収益	8,812,105	0	0	8,812,105
受託頒布地質図幅収益	2,238,202	0	0	2,238,202
手数料収益	784,800	0	0	784,800
会館賃貸収益	0	119,597,808	0	119,597,808
臨時賃貸収益	0	5,000	0	5,000
一般会計からの賃貸収益	0	1,637,912	-1,637,912	0
⑤雑収益	168,039	831,913	0	999,952
受取利息	103,606	831,913	0	935,519
雑収益	64,433	0	0	64,433
⑥他会計からの繰入額	32,176,000	0	-32,176,000	0
会館会計からの繰入額	27,600,000	0	-27,600,000	0
会館会計からの繰入額(調査研究助成)	4,576,000	0	-4,576,000	0
経常収益計	48,174,327	122,483,309	-33,813,912	136,843,724
(2) 経常費用				
①事業費	55,950,636	42,250,937	-818,956	97,382,617
給料手当	4,768,274	4,768,275	0	9,536,549
賞与引当金繰入	639,667	639,666	0	1,279,333
退職掛金	294,666	294,668	0	589,334
福利厚生費	444,650	444,651	0	889,301
地学雑誌出版費	36,325,949	0	0	36,325,949
受託頒布地質図幅事業費	347,334	0	0	347,334
消耗品費	92,152	92,152	0	184,304
旅費交通費	121,153	121,154	0	242,307
通信運搬費	222,273	222,275	0	444,548
水道光熱費	116,709	116,711	0	233,420
租税公課	845,907	16,011,646	0	16,857,553
火災保険料	17,472	216,636	0	234,108
支払報酬	707,000	707,000	0	1,414,000
会館委員会費	0	62,630	0	62,630
会議費	287,114	287,115	0	574,229
管理委託費	972,804	972,804	0	1,945,608
修繕費	330,582	4,098,633	0	4,429,215
交際費	4,000	4,000	0	8,000
減価償却費	58,781	12,291,607	0	12,350,388
会館会計賃借料	818,956	0	-818,956	0
支払利息	0	418,700	0	418,700
新聞図書費	18,653	18,654	0	37,307
リース料	237,265	237,265	0	474,530
雑費	224,693	224,695	0	449,388
調査研究助成金	4,576,000	0	0	4,576,000
地学クラブ費	291,749	0	0	291,749
ホームページ費	558,075	0	0	558,075
オンラインジャーナル費	426,405	0	0	426,405
各種委員会費(事業用)	2,202,353	0	0	2,202,353
行事委員会費	1,574,662	0	0	1,574,662

図書委員会費	291,869	0	0	291,869
助成委員会費	73,405	0	0	73,405
日本地学史編纂委員会費	208,510	0	0	208,510
広報委員会費	53,907	0	0	53,907
②管理費	11,595,142	0	- 818,956	10,776,186
給料手当	4,768,274	0	0	4,768,274
賞与引当金繰入	639,667	0	0	639,667
退職掛金	294,666	0	0	294,666
福利厚生費	444,650	0	0	444,650
消耗品費	92,152	0	0	92,152
印刷費	301,350	0	0	301,350
旅費交通費	121,153	0	0	121,153
通信運搬費	222,273	0	0	222,273
水道光熱費	116,709	0	0	116,709
租税公課	842,207	0	0	842,207
火災保険料	17,472	0	0	17,472
支払報酬	707,000	0	0	707,000
会議費	287,114	0	0	287,114
管理委託費	972,804	0	0	972,804
修繕費	330,582	0	0	330,582
交際費	4,000	0	0	4,000
減価償却費	58,782	0	0	58,782
会館会計借料	818,956	0	- 818,956	0
新聞図書費	18,653	0	0	18,653
リース料	237,265	0	0	237,265
雑費	224,693	0	0	224,693
各種委員会費(管理用)	74,720	0	0	74,720
庶務委員会費	54,020	0	0	54,020
経理委員会費	20,700	0	0	20,700
③他会計への繰出額	0	32,176,000	- 32,176,000	0
一般会計への繰出し額	0	27,600,000	- 27,600,000	0
調査研究助成金繰出し額	0	4,576,000	- 4,576,000	0
経常費用計	67,545,778	74,426,937	- 33,813,912	108,158,803
当期経常増減額	- 19,371,451	48,056,372	0	28,684,921
2 経常外損益の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 計上外費用				
固定資産除去損	14,154	0	0	14,154
経常外費用計	14,154	0	0	14,154
当期経常外増減額	- 14,154	0	0	- 14,154
税引前当期一般正味財産増減額	- 19,385,605	48,056,372	0	28,670,767
法人税、住民税及び事業税	0	14,049,100	0	14,049,100
法人税等調整額	0	915,714	0	915,714
過年度法人税等調整額	0	- 2,248,725	0	- 2,248,725
当期一般正味財産増減額	- 19,385,605	35,340,283	0	15,954,678
一般正味財産期首残高	72,843,493	269,917,455	0	342,760,948
一般正味財産期末残高	53,457,888	305,257,738	0	358,715,626
II 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用益	25,181	0	0	25,181
基本財産受取利息	25,181	0	0	25,181
②一般正味財産への振替額	25,181	0	0	25,181
一般正味財産への振替額	25,181	0	0	25,181
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	0	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	10,000,000	0	0	10,000,000
III 正味財産期末残高	63,457,888	305,257,738	0	368,715,626

貸借対照表総括表

平成19年度 第129期

(平成20年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	一般会計	会館会計	相 殺	合 計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	44,888,412	34,801,268	0	79,689,680
受託頒布地質図幅等	658,945	0	0	658,945
前払金	0	2,054	0	2,054
会館会計勘定	459,998	0	-459,998	0
繰延税金資産	0	1,333,011	0	1,333,011
流動資産合計	46,007,355	36,136,333	-459,998	81,683,690
2 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
基本財産合計	10,000,000	0	0	10,000,000
(2) 特定資産				
敷金変換積立金	0	59,679,000	0	59,679,000
減価償却積立金	0	60,454,000	0	60,454,000
特定資産合計	0	120,133,000	0	120,133,000
(3) その他固定資産				
建物	0	161,669,082	0	161,669,082
構築物	0	998,906	0	998,906
図書	1,843,113	0	0	1,843,113
什器備品	436,951	2,632,351	0	3,069,302
土地	2,225,340	0	0	2,225,340
電話加入金	323,448	0	0	323,448
定期預金	4,740,000	70,385,418	0	75,125,418
その他固定資産合計	9,568,852	235,685,757	0	245,254,609
固定資産合計	19,568,852	355,818,757	0	375,387,609
資産合計	65,576,207	391,955,090	-459,998	457,071,299
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	345,509	1,904,900	0	2,250,409
未払法人税等	0	14,047,400	0	14,047,400
前受金	0	9,966,484	0	9,966,484
預かり金	493,476	0	0	493,476
賞与引当金	1,279,334	639,666	0	1,919,000
一般会計勘定	0	459,998	-459,998	0
流動負債合計	2,118,319	27,018,448	-459,998	28,676,769
2 固定負債				
預かり敷金	0	59,678,904	0	59,678,904
固定負債合計	0	59,678,904	0	59,678,904
負債合計	2,118,319	86,697,352	-459,998	88,355,673
III 正味財産の部				
1 指定正味財産	10,000,000	0	0	10,000,000
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(0)	(0)	(10,000,000)
2 一般正味財産	53,457,888	305,257,738	0	358,715,626
(うち特定資産への充当額)	(0)	(47,751,000)	(0)	(47,751,000)
正味財産合計	63,457,888	305,257,738	0	368,715,626
負債及び正味財産合計	65,576,207	391,955,090	-459,998	457,071,299

財 産 目 録
平成 19 年 度 第 129 期
(平成 20 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	金 額
I 資 産 の 部		
1 流 動 資 産		
現金預金		
現金 現金手元有高	756,047	
普通預金 みずほ銀行飯田橋支店	52,980,685	
普通預金 みずほ銀行麹町支店	5,964,194	
普通預金 三菱東京UFJ銀行麹町中央支店	6,623,507	
普通預金 三井住友銀行麹町支店	1,730,964	
普通預金 住友信託銀行東京営業部	99,394	
金銭信託 住友信託銀行東京営業部	398,606	
金銭信託 みずほ信託銀行本店	51,334	
振替貯金	1,084,949	
定期預金 みずほ銀行飯田橋支店	10,000,000	
受託頒布地質図幅等 販売用地質図他	658,945	
前払金 国債購入未経過利息	2,054	
繰延税金資産	1,333,011	
流動資産合計		81,683,690
2 固 定 資 産		
(1) 基 本 財 産		
定期預金 住友信託銀行東京営業部	10,000,000	
基本財産合計	10,000,000	
(2) 特 定 資 産		
敷金返還引当資産 定期預金		
みずほ銀行飯田橋支店	20,000,000	
三菱東京UFJ銀行麹町中央支店	39,679,000	
	59,679,000	
減価償却引当資産 定期預金		
みずほ銀行飯田橋支店	60,454,000	
特定資産合計	120,133,000	
(3) その他固定資産		
建物 東京都千代田区二番町 12-2 2,927.48 m ²	161,669,082	
構築物 塀外	998,906	
図書 CHINA 第2巻, 手書彩色関東 実測図覆刻版一揃外	1,843,113	
什器備品 カーペット, パソコン他	3,069,302	
土地 東京都千代田区二番町 12-2, 505.04 m ²	2,225,340	
電話加入権 03 (3261) 0809 外5本	323,448	
定期預金 住友信託銀行東京営業部	3,000,000	
定期預金 みずほ信託銀行本店	1,740,000	
利付国庫債券 (5年及び10年)	70,385,418	
その他固定資産合計	245,254,609	
固定資産合計		375,387,609
資 産 合 計		457,071,299
II 負 債 の 部		
1 流 動 負 債		
未払金 未払消費税等, 地球科学図頒布代金	2,250,409	
未払法人税等, 法人税, 住民税及び事業税	14,047,400	
前受金 会館賃貸収入分	9,966,484	
預り金 職員に対する源泉所得税外	493,476	
賞与引当金	1,919,000	
流動負債合計		28,676,769
2 固 定 負 債		
預り敷金 第一建築サービス(株)	59,678,904	
固定負債合計		59,678,904
負 債 合 計		88,355,673
正 味 財 産		368,715,626

平成 20 年度事業計画書

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

1. 事業方針

地学を奨励し、地学における専門分野の連携を図り、もって総合的な地学の進歩普及を推進することを目的とする。

2. 事業内容

(1) 公益事業

① 講演会および地学見学会の開催（定款第 4 条の一）

地学に関する学術の交流と普及を目的として、講演会および見学会を開催する。

i. 定例の講演会および見学会

講演会は春季（定例講演会）に 1 回実施する。

見学会は秋季に 1 回開催する予定である。対象は原則として会員とその同伴者とする。ただし、案内者の紹介があれば、会員以外でも参加を認める。

ii. 特別企画の講演会と見学会

公開講演会を秋季に行う。「地球温暖化とその影響」（仮題）をテーマに、専門家 2 名による一般向けの講演会を予定している。見学会については、海外見学会（巡検）と国内の見学会（地学を楽しむ会）を参加者公募でそれぞれ 1 回行う。国内見学会については、一般の人、特に比較的若い人たちを対象に、地学について興味を持ってもらう目的で、「地学を楽しむ会」として開催する。今年度は、「霞ヶ浦湖岸の自然再生事業と波崎の風力発電施設（波崎ウインドファーム）を訪ねて」（仮題）というテーマで春季に実施する予定である。海外見学会（巡検）については、外国の地学的に興味のある場所・施設を、専門家による話を聞きながら見学する（場所と開催時期は未定）。

iii. 行事関連ホームページの更新

開設以来相当期間を経過したので、ホームページの行事関連部分を全面的に見直し、更新する。

事業費：総額 200 万円

内 訳：i 講演会および見学会

春季講演会の開催：10 万円

定例見学会の実施：10 万円

ii 公開講演会および国内・海外見学会

公開講演会の実施：40 万円

国内見学会の実施：20 万円

海外見学会の実施：80 万円

iii ホームページの作成：40 万円

②地学雑誌の発行・頒布（定款第 4 条の二）

会員の研究成果の発表を目的として地学雑誌の発行を継続する。地学雑誌の編集・発行を通じ、地学の普及と発展に寄与する。

地学雑誌は年 6 回、約 900 頁を、偶数月の 25 日に発行する。偶数月は可能であればその年のホットな地学界の問題点を取り上げ、特集号とする。そのうち 1 号を編集委員会の企画による特集号とする。平成 20 年度は 117 巻 2 号から 118 巻 1 号までを発行する。月例の編集委員会は年 11 回開催し、特集号の企画・編集のための会議は随時開催する。

なお、別刷は著者ごとに CD-ROM 一枚にまとめ、これを各著者に無償で提供する（印刷物の別刷が必要な場合には有償で提供する）。さらに年度末には会誌一卷を一枚の CD-ROM にまとめ、地学協会の原備データとする。

このほか 20 年度には地学雑誌関連ホームページを更新する（費用はホームページ費に計上）。

地学雑誌出版費：総額 3,570 万円

内 訳：編集費：1,750 万円（編集担当職員人件費）

編集委員会費：305 万円

印刷製本費：1,415 万円

地学雑誌発送費：100 万円

③地質図幅等の頒布（定款第 4 条の二）

独立行政法人産業技術総合研究所との間で平成 17 年 4 月 1 日に契約された「地球科学図および地球科学データ集の有料頒布業務」についての委託契約に基づき、同研究所地質調査総合センター（旧工業技術院地質調査所）発行の地球科学図お

よび地球科学データ集等出版物を委託販売により頒布し、利用者の便宜を図る。

④日本地学史の編纂（定款第4条の三）

日本地学史編纂委員会は、昭和60年創立以来、日本地学史の歩みを調査研究し、平成4年から研究成果（日本地学史稿）を毎年25-30ページの記事に纏め、『地学雑誌』に発表してきた。既に明治～昭和前期分を終了し、残りは戦後分（昭和25-30年）で、今後も引き続き現行のペースで進める予定である。本年度は、「占領時代、国際会議、学術研究体制、学・協会および科学雑誌、教育・研究体制」の諸項目について、前年度調査検討した結果に基づく報告記事を発表する予定である。他方、「国土調査、海外調査事業等」について研究討論を進める。

委員会は年3～4回開催する。

委員会費：45万円

⑤地学に関する調査・研究費助成（定款第4条の三）

当協会が適当と認める研究・調査を助成し、地学の発展に寄与することを目的とする。

助成対象は会員または会員が加わっている研究グループとし、地学に関する研究・調査、および国内で開催される国際研究集会に対して助成を行う。

助成委員会は、応募者の中から助成対象候補を選考し、理事会の承認を受けて、調査・研究の助成金、国際研究集会援助金および貸付金等の配分を行なう。

調査研究助成金総額：420万円

選考委員会費：10万円

⑥広報活動（定款第4条の四）

地学雑誌のウェブ掲載の推進と、ホームページの維持・拡充を図る。

総額 295万円

i. 現在実施中の、新刊（1号遅れ）のオンライン公開を継続する。

オンラインジャーナル費：65万円

ii. ホームページの維持・拡充

ホームページ更新費（地学雑誌部分）：150万円

ホームページ維持費：80万円

広報委員会費：10万円

⑦図書室の整備（定款第4条の五）

雑誌の製本、図書整理を継続して行うほか、東京地学協会の過去の出版物をCD-ROM化し、永年保存するとともに、希望者に対する有料頒布を行う。

図書委員会費総額 100万円

内訳：雑誌製本、図書整理費等：40万円、

CD-ROM製作費：60万円

⑧将来計画委員会活動計画（定款第4条の八）

i. 東京地学協会の将来展望に関する検討

ii. 地球惑星科学連合との連携窓口としての活動

iii. その他、会長・理事会から諮問された事項の検討

委員会費：10万円

⑨ジオエキスパート委員会による専門家紹介事業（定款第4条の八）

協会の社会貢献事業の一つと位置付け、公募により自治体・NPO・企業などに、地学関連の（登録）専門家を講師などとして紹介する事業を行なう。

総額 60万円

内訳：委員会費：16万円

関連ホームページ作成・維持費：15万円

パンフレット作成費：10万円

協会負担の講師派遣費など：19万円

⑩渉外活動（定款第4条の四）

2014年、京都において開催する「IGU 地域会議」に関する渉外業務を中心に、その他渉外業務を担当実施する。

委員会費：10万円

⑪地学クラブ講演会の支援（定款第4条の一）

地学クラブは、地学全般の新しい発見や研究の動向等に関する講演会を開催し、会員の知識向上を目指すことを目的としている。この地学クラブの活動に対して協会は支援を行う。

講演会は年10回程度開催する。講演会の演題と講演者を決めるため、年4回程度世話人会を開催する。

地学クラブ費 45万円

(2) 収益事業（会館特別会計）（定款第4条の七）
地学会館ビルの一部賃貸・会館の保全管理事業
当協会の公益事業を安定的かつ継続的に行うた
め、収益事業（会館特別会計）から一般会計へ資

金の支援を行う。そのため、引続き地学会館ビル
の一部を賃貸する。また、引続き必要に応じた、
または長期計画に則った改修を行っていく。

収支予算書総括表

平成20年度 第130期

(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位:円)

科 目	一般会計	会館特別会計	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
①基本財産運用収入	10,000	0	0	10,000
基本財産利息収入	10,000	0	0	10,000
②特定資産運用収入	0	0	0	0
特定資産利息収入	0	0	0	0
③会費収入	4,050,000	0	0	4,050,000
正会員会費収入	3,800,000	0	0	3,800,000
賛助会員会費収入	250,000	0	0	250,000
④事業収入	6,500,000	121,042,000	-1,424,000	126,118,000
地学雑誌収入	4,000,000	0	0	4,000,000
受託頒布地質図幅収入	2,000,000	0	0	2,000,000
手数料収入	500,000	0	0	500,000
会館賃貸収入	0	119,598,000	0	119,598,000
臨時賃貸収入	0	20,000	0	20,000
一般会計からの賃貸収入	0	1,424,000	-1,424,000	0
⑤雑収入	150,000	450,000	0	600,000
受取利息	50,000	450,000	0	500,000
雑収入	100,000	0	0	100,000
⑥他会計からの繰入金収入	40,200,000	0	-40,200,000	0
会館特別会計からの繰入金収入	36,000,000	0	-36,000,000	0
研究調査助成金振当収入	4,200,000	0	-4,200,000	0
事業活動収入計	50,910,000	121,492,000	-41,624,000	130,778,000
2 事業活動支出				
①事業費	61,062,000	27,206,000	-712,000	87,556,000
地学雑誌出版費支出	35,700,000	0	0	35,700,000
編集費支出	17,500,000	0	0	17,500,000
編集委員会費	3,050,000	0	0	3,050,000
印刷製本費支出	14,150,000	0	0	14,150,000
地学雑誌発送費支出	1,000,000	0	0	1,000,000
受託頒布地質図幅事業費支出	600,000	0	0	600,000
給料手支出当	5,700,000	5,700,000	0	11,400,000
退職掛金支出	312,000	312,000	0	624,000
福利厚生費支出	600,000	600,000	0	1,200,000
消耗品費支出	400,000	400,000	0	800,000
旅費交通費支出	300,000	300,000	0	600,000
通信運搬費支出	370,000	370,000	0	740,000
水道光熱費支出	300,000	300,000	0	600,000
租税公課支出	800,000	14,000,000	0	14,800,000
火災保険料支出	18,000	224,000	0	242,000
支払報酬支出	800,000	800,000	0	1,600,000

会館委員会費支出	0	200,000	0	200,000
会議費支出	320,000	320,000	0	640,000
管理委託費支出	1,000,000	1,000,000	0	2,000,000
修繕費支出	300,000	1,900,000	0	2,200,000
交際費支出	20,000	20,000	0	40,000
会館特別会計への賃借料支出	712,000	0	-712,000	0
新聞図書費支出	50,000	50,000	0	100,000
リース料支出	390,000	390,000	0	780,000
雑支出	320,000	320,000	0	640,000
調査研究助成金支出	4,200,000	0	0	4,200,000
地学クラブ費支出	450,000	0	0	450,000
ホームページ費支出	2,300,000	0	0	2,300,000
オンラインジャーナル費支出	650,000	0	0	650,000
各種委員会支出(事業用)	4,450,000	0	0	4,450,000
行事委員会費支出	2,000,000	0	0	2,000,000
図書委員会費支出	1,000,000	0	0	1,000,000
助成委員会費支出	100,000	0	0	100,000
日本地学史編纂委員会費支出	450,000	0	0	450,000
広報委員会費支出	100,000	0	0	100,000
将来計画委員会費支出	100,000	0	0	100,000
ジオエキスパート委員会費支出	600,000	0	0	600,000
渉外委員会費支出	100,000	0	0	100,000
②管理費支出	13,312,000	0	-712,000	12,600,000
給料手当支出	5,700,000	0	0	5,700,000
退職掛金支出	312,000	0	0	312,000
福利厚生費支出	600,000	0	0	600,000
消耗品費支出	400,000	0	0	400,000
印刷費支出	400,000	0	0	400,000
旅費交通費支出	300,000	0	0	300,000
通信運搬費支出	370,000	0	0	370,000
水道光熱費支出	300,000	0	0	300,000
租税公課支出	800,000	0	0	800,000
火災保険料支出	18,000	0	0	18,000
支払報酬支出	800,000	0	0	800,000
会議費支出	320,000	0	0	320,000
管理委託費支出	1,000,000	0	0	1,000,000
修繕費支出	300,000	0	0	300,000
交際費支出	20,000	0	0	20,000
会館特別会計への賃借料支出	712,000	0	-712,000	0
新聞図書費支出	50,000	0	0	50,000
リース料支出	390,000	0	0	390,000
雑支出	320,000	0	0	320,000
各種委員会支出(管理用)	200,000	0	0	200,000
庶務委員会費支出	100,000	0	0	100,000
経理委員会費支出	100,000	0	0	100,000

③法人税等支出	0	21,000,000	0	21,000,000
法人税, 住民税及び事業税	0	21,000,000	0	21,000,000
④他会計への繰入金支出	0	40,200,000	-40,200,000	0
(1) 一般会計への繰入金支出	0	36,000,000	-36,000,000	0
(2) 調査研究助成金繰入支出	0	4,200,000	-4,200,000	0
事業活動支出計	74,374,000	88,406,000	-41,624,000	121,156,000
事業活動収支差額	-23,464,000	33,086,000	0	9,622,000
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0
2 投資活動支出	200,000	21,260,000	0	21,460,000
①特定預金支出	0	11,260,000	0	11,260,000
減価償却積立金支出	0	11,260,000	0	11,260,000
②固定資産購入支出	200,000	10,000,000	0	10,200,000
利付国庫債券購入支出	0	10,000,000	0	10,000,000
什器備品購入支出	200,000	0	0	200,000
投資活動支出計	200,000	21,260,000	0	21,460,000
投資活動収支差額	-200,000	-21,260,000	0	-21,460,000
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入	0	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0	0
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
IV 予備費支出	2,000,000	2,000,000	0	4,000,000
当期収支差額	-25,664,000	9,826,000	0	-15,838,000
前期繰越収支差額	44,509,425	8,424,540	0	52,933,965
次期繰越収支差額	18,845,425	18,250,540	0	37,095,965